

【高等学校用】

令和4年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	佐賀県立伊万里実業高等学校(商C)[定時制]
-----	------------------------

1 前年度 評価結果の概要	<p>○コロナウイルス感染予防策を講じながら、おおむね順調に学校行事を行うことができた。オンラインによる会議や研修会等への取組も多く取り入れてきた。今後も効果的活用をしていきたい。</p> <p>○進路指導においては、早め早めの指導体制で臨んだことが功を奏した。今後も全日制の求人情報を鑑みながら早期から取り組んでいきたい</p> <p>○いじめ問題も3件発生したが、早期の発見と職員一致の体制で臨んだことで、悪化を招くことなく解決へと導くことができています。今後もいじめの早期発見・解決に組織的に努めていく。</p>
---------------	---

2 学校教育目標	心身ともに健康でたくましく、「至誠」と「礼節」を重んじ専門的知識・技術を生かし社会に貢献し愛される人材を育成する。
----------	---

3 本年度の重点目標	<p>”「Know」(農)&「Show」(商)”～超絶技巧～をスローガンとして、心身ともに健全な人材の育成に努めるとともに、学習意欲を高めさせ、地域に貢献し愛される生徒の育成を目指す。</p> <p>○心身ともに健康な生徒と安全安心な学校づくり</p> <p>○学習意欲を高め、確かな学力習得(修得)と進路実現を図る</p> <p>○次世代を見据え、地域に貢献できる人材の育成を図る</p>
------------	---

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○基礎学力の定着	○基礎学力テストで50%以上正答した生徒が80%以上 ○出席率95%以上	・授業時間の確保。 ・授業実施率90%以上。 ・気になる生徒への声かけを行う。	A	・台風の影響で2日間休校となったが、コロナの影響はなく順調に授業ができています。このままいけば目標達成可能である。 ・前期出席率は95.9%であった。	A	・授業実施率100%をこえた教科もあった。 ・基礎学力テストで50%以上正答した生徒は87.5%であった。 ・長欠者がいたこともあり出席率は94.7%であった。担任による声かけも欠席者数は減少している。	A	・新型コロナ等による学級閉鎖を心配したが、杞憂に終わりよかった。授業時間を最大限に確保し、基礎学力の定着が図れたことはよかった。 ・職員の声かけで欠席者数が減少しており、ぜひ続けてもらいたい。	教務
	○専門教科指導の充実	○少人数授業のメリットを生かした個別指導の機会を増やす ○各種検定試験の合格率90%以上	・授業ごとに習熟度を確認し、遅れている生徒へ課後に個別指導を行う。 ・単元ごとに小テスト等を行い、理解度を確認させる。	A	・少人数授業によって個々への指導を充実し、授業内容の理解が深まっている。 ・各種検定試験は10月以降に受けることになっているが順調に進んでいる。	A	・欠点保有者となるような理解不足の生徒は出ていない。個別指導により大きく遅れている生徒はいない。 ・検定合格率は93%であった。	A	・少人数授業の特性が発揮され、個々の能力向上が達成できている。 ・検定試験の取得により生徒に自信が生まれている。生徒の更なる意欲向上に期待したい。	商業
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○講演を受けて「ためになった」という趣旨の文言が90%以上	・人権・同和教育、情報モラル教育の講演会の実施。 ・HRや授業の様々な場面で生命の尊さ、他者への思いやりの大切さを話す。	A	・人権や性の多様性についての講話を行い知識・理解を深めたり、各クラスごとに人権学習に関するHRを行い偏見や差別について考えた。 ・全校生徒で清掃活動を行い、協調性や社会性、思いやりの心を育んだ。	A	・講演会への参加率もよく、94%の生徒が「ためになった」という趣旨の回答があった。 ・学校内の生徒間のトラブルも数件あったが、相手を思いやる言動ができる生徒も増えつつある。	A	・生徒たちにとってためになる講演・講話をしてもらっている。今後も思いやりを育む教育活動を続けて欲しい。 ・生徒が将来の夢をもてるような取組を期待したい。	教務
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○「いじめの問題に関する点検項目」に対し、95%以上の職員が全て「おおむねできている」「できている」の回答	・「いじめアンケート」を隔月実施、「生活アンケート」を前後期各1回実施 ・生徒に関する情報交換・協議会を毎月実施	B	・計画通りアンケート調査を実施した。 ・生徒の申し出で2名の認知。 ・今後も支援体制の充実及び相談しやすい環境作りを心掛けていきたい。	A	・いじめの問題に関する点検項目でできている「おおむねできている」で100%となった。 ・生徒の申し出により2件、アンケート調査により1件の認知となった。	A	・日頃から保健室や担任を中心に、よくアンテナを張ってもらっている。いじめは常に起こっているという認識で、今後も早期発見・早期対応をお願いしたい。	生徒指導
	◎★ふるさと佐賀(伊万里)への思いを醸成するための教育活動	◎「佐賀県(伊万里)に誇りや愛着を感じる・どちらかというと感じる」と回答した生徒が90%以上 ★郷土の人材を活用した講演会等を年間1回以上	・「佐賀語り」等を活用した授業に取り組む。 ・郷土の人材を活用した講演会(今年度は伊万里の祭り・民俗芸能を予定)を実施する。	B	日本史の幕末・明治に関する授業の際、「佐賀語り」を利用して、佐賀出身者の活躍について言及している。	B	・授業においては「佐賀語り」を用いた佐賀の偉人について、講演会においては「伊万里の祭り」についての学習を行うことができた。 ・「佐賀県(伊万里)に誇りや愛着を感じる・どちらかというと感じる」と回答した生徒は70%であった。	B	・佐賀県への愛着度がやや低いと思われる。授業や講演だけでなく、日頃の教育活動からふるさとへの愛をアピールし、ふるさとを愛する心を醸成してもらいたい。	地歴公民科
	○生徒主体で生徒会活動に関する行事の運営をさせる。	○全校体育やクリスマス会で生徒会役員で行事を運営させる。	・全校体育やクリスマス会を実施する。 ・定時制・通信制体育大会の練習で人数が不足している競技については、教職員も共に練習に参加し士気を高める。	A	・定時制・通信制体育大会では、大会前に熱心に練習に励み、全員出席で大会に出場できた。 ・全校体育では、生徒会役員が競技の進め方を説明し、スムーズに競技を進めることができた。	A	・ボランティア清掃活動では、すべての生徒が清掃活動に参加し、学校周辺のゴミを分別し収集することができた。 ・クリスマス会では、生徒会役員が司会やクリスマスの意味の説明やビンゴゲームの進行を行い、滞りなく会を進めることができた。	A	・生徒数が少ない中、職員をサポートを得て各種行事に取り組むことができた。 ・今後は生徒をもっと前面に出して、主体的に行動させる機会をできる限り多く与えてもらいたい。	生徒会
●健康・体づくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●「健康に食事は大切である」と考える生徒95%以上 ○給食の喫食率80%以上	・喫食調査を毎日実施し、生徒の健康状態を併せて把握する。 ・食生活に関する面談を実施し、実態を把握する。 ・「給食だより」を毎月発行する。 ・食育アンケートを実施(9月)し、その結果をもとに講話を行う(1月)。	B	・前期の面談は全員実施し、生徒の実態把握と朝食の大切さや望ましい食習慣など指導した。後期の面談は数名個別指導を行った。 ・食欲がない生徒にも一品でも良いので食べるように声掛けを行っている。 ・生徒の実態より、朝食の役割等給食室に掲示し、生徒の食への意識向上を図っている。 ・4月～9月の平均喫食率は79.8%であった。	B	・「健康に食事は大切である」と考える生徒は87.5%で、2人はどちらともいえないと答えた。 ・1月までの喫食率は77.5%であった。(特定の遅刻や欠席者が多いため) ・朝食毎日喫食率は44%であった。(9月アンケート) ・給食の時間や講話を通して、食の大切さや望ましい食習慣を身に付けさせるために食に関する指導を継続的に行っていきたい。	B	・給食だより、HPでの給食紹介、給食室内の掲示等、いろいろな面で食の大切さを指導してもらっている。 ・保護者に対しても食の大切さを理解してもらえるように、生徒向けの講演会に保護者を案内するなどの手立てをしてもらいたい。	給食
	○健康管理能力の向上	○検診結果で治療を要する生徒の治療受診率80%以上	・登校時に検温、健康観察を行い、日々の健康状態を把握する。 ・「保健だより」で健康についての情報を提供する。	B	・登校時の検温、健康観察の実施、保健だよりの発行により、生徒の健康に対する意識が高まっている。 ・治療受診は家庭の事情で進まず、8名(眼科5名、歯科3名)がまだ受診をしていない。	B	・健康に関する講演会(歯と口、性教育、がん教育)を実施して、生徒の健康に対する意識を高めることができた。 ・治療を要する生徒8名のうち1名(歯科)が受診できた。	B	・新型コロナ感染予防対策には日頃からよく取り組んでもらっている。引き続き衛生管理をお願いしたい。 ・治療受診がなかなか進んでいないのは家庭の事情もあると思うが、健康第一なので、粘り強く生徒・保護者に対応し、意識向上を図ってもらいたい。	保健
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・毎日の定時退勤推進 ・学校閉庁日の設定 ・出退勤管理システムや定期的な面談等による日常チェック ・定期的な業務バランスの確認 ・ペーパーレス化の推進	B	・定時退勤への意識が高い。業務も早め早めに遂行する職員が極めて多い。 ・校務の兼任をしている職員が多いが、コミュニケーションがよく取れ互いに協力し合っている。 ・資料等は極力電子データで供覧している。	A	・定時退勤への意識が高く、業務も早めに遂行する職員が極めて多い。 ・校務の兼任をしている職員が多いが、コミュニケーションがよく取れ互いに協力し合っており、年次休暇の取得(一人平均16.9日)がしやすい雰囲気である。 ・資料等は極力電子データで供覧しており、保護者から回収する「保健調査票」の見直しを行った。	A	・省略できる部分は省略し、簡素化できる部分は簡素化する。会議・研修等もオンラインでできる部分はオンラインで行う。また、オンラインだからこそ参加できる研修もあつた。今の取組を継続してもらいたい。 ・先生たちには、休める時はしっかり休んで心身ともに健康であって欲しい。	教頭

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目										
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○自己実現の充実	○進路指導の充実 ○キャリア教育の充実 ○希望進路の実現	○在校生の就業率を80%以上をめざす。 ○卒業予定者の進路決定率を100%にする。	・1年次から、推奨しているアルバイト等の就労体験を通し、社会性を身に付けさせ、進路意識を高める。 ・卒業生に対し、日ごろの教育活動を通して進路意識の啓発を行う。 ・全日制進路指導部および、ハローワークと連携し、進路情報を収集して、生徒に提供する。	B	・在校生の就業率は87.5%であり、ほとんどの生徒がアルバイトをしている。 ・卒業生のみならず在校生に対しても、日頃の教育活動を通して、担任や進路から線路意識啓発のための様々な話しを行っている。 ・卒業生予定者の6名中、4名が進路決定を実現させている。残りの2名も現在活動中である。	A	・在校生の就業率は87.5%であり、ほとんどの生徒がアルバイトをしており、働く意識が高い。 ・早い段階からの進路に向けた活動を行うことができ、卒業予定者の全員が進路決定を行うことができた(100%達成) ・卒業予定者だけでなく、全先生方の協力のもと進路意識を涵養するための話し等を、年間を通じて行うことができた。	A	・アルバイトと学業の両立は大変なので、先生方の生徒への後押しを今後お願いしたい。 ・卒業生全員の進路が決定したことはとても良かった。 ・年間を通じて、進路意識を涵養するために全先生方が話をいろいろな場面でしてくださったことは有り難い。今後も続けて欲しい。	進路指導
★定時制課程のPR	★定時制ホームページによる情報発信の充実	★最低週1回はホームページを更新する。	・「伊実定時制の風景」を創設し、生徒の活動や校内の様子等を小まめに発信する。 ・再度見たくくなるような魅力的なホームページの作成に努める。	A	・「伊実定時制の風景」を通して、生徒の活動や校内の様子等を発信することができている。また給食の画像は毎日更新できている。 ・より魅力的なホームページになるように季節に応じたテーマを取り入れる。	A	・「伊実定時制の風景」を通して、生徒の活動や校内の様子等をほぼ毎日発信することができた。学校生活の様子を伝える写真の被写体になってほしいと申し出る生徒も出てきた。 ・「伊実定食」では給食献立を公開した。	A	・定時制ホームページがよく更新されている。 ・保護者や生徒のアクセスを増やし、学校の教育活動をもっと知ってもらうために、今後は学校からの配信メールにホームページのURLリンクを貼る等の対策をすると良い。	教務 教頭
○教員の資質向上	○授業改善による教員の資質向上	○生徒による授業評価3.4以上(4段階)	・年度中期及び末に生徒による授業評価を行い、その後の改善に生かす。 ・授業評価、アンケートの結果を基にした、職員による授業改善協議(校内研修)を実施する。 ・生徒や職員の自宅待機期間中等、オンライン授業・オンラインHRの実施が最善の場合は実施する。職員のオンライン研修会も増えているので、全体的な操作スキルの職員研修を行う。	B	・生徒による授業評価は4段階で3.68と高く、生徒の実態に合わせ、生徒が聞き取りやすく集中して授業に臨める環境がつけられている。今後は、さらに分かりやすく、興味・関心を持たせる授業の工夫が期待される。 ・新型コロナ対応に係る自宅からのオンライン授業や別室登校生徒へのオンライン同時配信授業を行った。そのための操作スキル研修も行い、配信授業での操作やスキル等の情報交換が職員間でよくできている。	A	・生徒による授業評価は後期が4段階で3.63と引き続き高く、生徒の実態に合わせ、生徒が聞き取りやすく集中して授業に臨める環境がつけられ、授業の進め方の工夫もなされている。 ・年間を通して、新型コロナ対応に係る自宅待機中の職員がオンライン配信授業を行ったり、別室登校生徒へのオンライン同時配信授業を行ったりして、生徒の学ぶ権利を保障することができた。そのための操作スキル研修を行い、配信授業での操作やスキル等の情報交換及び協体制が職員間でよくできた。	A	・生徒が中学時代に長期欠席等で学んでいない分野があるため授業も大変であると思うが、生徒たちにとって「わかる授業」を追究して欲しい。 ・今後も授業評価を授業改善に繋げる取組を継続してもらいたい。 ・教室復帰を促すための別室対応の生徒に対して、同時配信授業を行う取組はとても良かった。	教頭

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり

5 総合評価・次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染予防対策にはよく取り組めたため、概ね順調に学校行事を行うことができた。オンラインの活用も可能な範囲で取り組めた。今後も効果的な活用をしていく。 ・進路指導においては、早い段階から活動し全職員協力の下、粘り強く指導したことが功を奏した。今後も定時制のみならず、全日制の求人票も視野に入れ、早い段階から粘り強く取り組んでいく。 ・いじめ問題については、まだ解消していない事案があるものの、早期発見と職員的一致団結で組織的な対応をすることができた。今後も職員間の情報共有・連携を欠かさず、組織的に対応していく。
----------------	--